Sykes & Williams no. 6489, Jul. 24, 1954, fl.—type in BM, E); Nagar Jong, Kathmandu Valley, 6000 ft (Williams & Stainton no. 8143, Aug. 20, 1967, BM); Nagarjong, 1500 m (Bista & Kanai nos. 674407 & 674459, Oct. 2, 1969, TI); Midway to Damacho East, 5000 ft (Malla no. 4822, Jul. 5, 1966, BM).

The species is clearly distinguished from *Mycetia longifolia* (Wall.) O. Kuntze in having narrow lonceolate calyx-lobes, very minutely pubescent inflorescences and calyces, leaves glabrescent above and very minutely apressed hairy on nerves beneath, and bracts and calyces without conspicuous glands.

* * * *

115) *Arenaria paramelanandra* Hara (新種) チョウカイフスマのような形をした一群に属し，ヒマラヤ・中国で分化しており，本種はネパール高地に産する。

116) *Stellaria congestiflora* Hara (新種) これもネパール高地に産し，多年生でクッション状になる種類である。

117) *Cardamine yunnanensis* Franch. ヒマラヤから記載された *C. Inayatii*, *C. sikkimensis* は共に中国西部の本種と同種と考える。

118) *Sedum Griffithii* C.B. Clarke ブータンから記載され *S. rosulatum* の異名とされていたが，大場秀章氏の御注意によりタイプを調べたところ全く異なり，私の *S. pseudosubtile* と同一であることが分った。

119) *Rotala rubra* (Hamilt. ex D. Don) Hara (新組合せ) ミズキカシグサに似たネパール産種で，今まで *R. alata* とよばれてきたが，タイプを見て両者が全く同一であることを確かめた。

120) *Rhododendron trichocladum* subsp. *nepalense* Hara (新亜種) この類は中国西部・チベット・ビルマに分布し，多くの細かい種が記載されているが，最も西方のネパールに産する形を亜種として区別する。

121) *Mycetia nepalensis* Hara (新種) ネパール・クマオンに産するアカネ科の低木で，近縁の *M. longifolia* に比し，萼片が狭長で，苞や萼に腺突起がなく，毛の状態もちがう。

□松島 博: **近世伊勢における本草学者の研究** pp. 525 講談社，東京 1974, III ¥3,500。伊勢国は多くの本草家を出したが，その中でも丹羽正伯，野呂元丈，植村政勝，飯沼慾斎，西村広休，丹波修治の6氏はことに有名である。それらの諸家の家系，学統，採薬，著書等を詳しく述べたもので一つのよりどころとすることができる。何故伊勢にこのように本草家が出たのかを知る手掛りにもなろう。挿入の写真に不鮮明のものがあるのは惜しい。少し古いが良書と思われるので紹介した。 (前川文夫)